

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・春休みの間は学生・ファミリー層を中心に来客数はかなり多かった。春休みの終わりごろに中だるみはあったが、後半に入って、再び学生を中心に来客数が増えている。春物の動きも良く、半袖等の夏物も出足が早い。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・客の購入単価が少しずつ上昇している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・4月はゴールデンウィークを控えて毎年旅行需要の多い月であるが、今年は例年に比べ個人の宿泊を伴う旅行が少なかった。特に海外旅行については、連休の日並びの関係、燃油サーチャージが高額になっていることもあり低調であった。国内旅行も日帰り、1泊など費用を掛けない旅行が多かった。団体旅行では会社の創立記念の旅行、OB会の旅行等で比較的受注があった。
	変わらない	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・予約状況も非常に良いペースで入ってきている。来場者も順調に推移している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・同業者に聞いても、例年ほど来客数がなく、1店舗当たりの売上も結構落ち込んでいるようで、あまり期待できない。例年、3～5月は花がかなり売れるのに、今年は売りが鈍い。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・店頭の販売状況を見ると、いわゆる高額商品、特に宝飾品・時計・インテリア・高級じゅうたん等の動きがここへきて急激に低下してきており、かなり厳しい状況にある。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・売上、来客数共に前年同月を上回った。おおむね全ての商品群が前年を確保したが、催事等による要因が大きい。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・売上のには少し上昇しているが、これは単価が上昇した分である。来客数等の変化がないので、景気がいいとは言いかねる。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・ガソリン価格の下落、消費財の高騰と好要因・悪要因が入り乱れているが、買物動向としては、必要なものを必要な分だけ買うという、堅実な行動となっている。
		家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・今月は新築・引っ越しの客で、液晶テレビ、冷蔵庫などが売れている。その期間は多少長くなっているものの、前年に比べると多少の増加にとどまっている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・暫定税率の問題でガソリン代が下がり、自動車の購買につながるかと期待したが、5月に値上がりするため、全く自動車購買につながらない。客の様子から、相変わらず買い控えの傾向が強く、販売は伸びていない。
		タクシー運転手	単価の動き	・春の花見や移動に、利用が増加するのではと期待していたが外れた。
		タクシー運転手	来客数の動き	・春が来て、客ももう少し外へ出て動くかと思ったが、なかなか厳しい。夜もあまり出ず、昼もタクシー料金値上げの影響か、乗客は減っている。料金を上げても売上は変わらない。特に夜は飲みに出していない。乗っても、近いところが多く、長距離・中距離が出ないので、売上が伸びない。
通信会社（支店長）	販売量の動き	・新生活シーズンにもかかわらず客の動きは鈍く、購買をセーブしている。		
通信会社（管理担当）	販売量の動き	・新端末販売開始や新サービス開始など、業界全体において活気づく要素は出揃っているものの、店舗への来客数も含めて総合的に勘案すると、3か月前と大きな変化はない。		
美容室（経営者）	来客数の動き	・転勤などで客の入れ替わりが多かった。		
やや悪く なっている	商店街（代表者）	それ以外	・空き店舗対策を講じているが益々希望者が少なくなっている。	

		商店街（代表者）	お客様の様子	・ガソリン・物価など不安な要素が多いのが原因かも知れないが、客数・単価共に動きが悪い。	
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・余分な支出はしたくないという印象を感じる。具体的には、まず必要なものを選択し、その上で、品質（味・安全や健康）・量目（無駄な量は不要）・価格（価値がある）を見極めて購入する動きがある。こうした問い合わせや相談が増えている。	
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・売上については、全体として前年比を上回っているが、冷凍食品・日用雑貨については前年を下回っている。	
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は来客数が特に少ない上、買上の顧客も必要なものだけの1点買いが多い。前年に比べて客単価で1割以上、売上高で1割弱落ち込んでいる。	
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・3月の反動とはいえ、販売台数は極端に少ない。	
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・相次ぐ値上げにより販売単価は上昇しているが、客単価の上昇は見られない。購入点数が前月・前年と比較すると下がっている傾向にある。	
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・販売しているものが生活必需品ではないこともあるが、商品を勧めても金額を説明すると、すぐ断る人が増えたように思う。	
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・国内旅行が全国的に伸び悩み傾向にあるなか、四国でも力強い動きは感じられない。瀬戸大橋20周年やその他の周年行事等はあるが、全国との競争のなかでは、客を増やすことは難しい。	
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数に加えて、客単価も伸びて来ない。	
		観光名所（職員）	来客数の動き	・入場者数が減ってきており、個人客もかなり減ってきている。	
悪くなっている		一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・客数が少ないのが気になる。お年寄りや兼業農家の方の客が多いので保険料の改正が影響するか心配している。	
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	単価の動き	・メーカー生産者販売価格の引き上げで、止むを得ず料飲店納入価格、店頭販売価格を値上げしたら、販売数量、販売金額共に減少という結果が顕著に出た。	
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・新学期シーズンにあわせて、イベントを行っているが、盛り上がりは欠け、思うように売上がとれず、前年割れになっている。	
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月に入って来店客が減り、服飾や雑貨を中心に全般で売上が低迷している。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・食料品の値上がりが続いているなかで、以前に比べて1.5倍の価格になった物もある。あまりにも高くなりすぎて、買上点数が鈍っている。	
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・3月の決算期が終わると、来店客が途絶えた。	
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客数および客単価が非常に悪い状態である。	
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・道路特定財源問題により、公共事業の発注量が激減し、建設業の経営状況は極めて厳しい状況が続いている。業界では、雇用力が激減するなか、人員削減、給与カット、廃業等が見られる。	
	企業動向関連	良くなっている	-	-	-
			食料品製造業（従業員）	それ以外	・3か月前には、中国産冷凍ギョウザ問題があって、冷凍食品全体の売上が落ちた。少し回復してはいるが、まだまだ厳しい状態である。
やや良くなっている		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末ということで、忙しいのが当たり前ではあるが、現状では化学・電子材料・製紙の設備機械の受注が相次ぎ、プラスである。	
		変わらない	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・建設資材は値上がりが激しいのに、受注価格は低い。
通信業（営業担当）	それ以外		・公共工事比率の高い建設企業を訪問している時の会話の中で、「租税特別措置法（ガソリン税）の影響で、新年度に入っても大きな工事の入札が少なく、昨年の改正建築基準法の施行の影響が落ちてきているのに、またまた仕事量が減り、下請け、作業員を遊ばせている。早く何とかして欲しい」などの話を聞く機会が多い。		

	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・コストアップの対応として新商品を売り出しているが、まだ消費者の認識が十分ではないので、なかなか売れていない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・年度末の期間も含み動きが鈍かった。ただし、特殊物件（トンネル清掃車）の受注・納車などがあり、低調の中にも今期につながる商談があった。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・建設業界のクレーンの稼働状況は低下傾向。稼働単価についても改善が進んでいない状況である。
		輸送業（役員）	取引先の様子	・取引先からの運賃値下げ要請や、物流合理化等により、収入、数量共に低迷している。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・燃料価格高騰の影響が出てきており、売上が上昇したにもかかわらず、利益確保がかなり難しいという状況になってきている。
		広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・資材価格の高騰及び受注価格の下落が目立ってきている。仕事量は増える傾向にあるが、利益が出ていない。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・得意先からは原材料等の原価高騰により経営が厳しいといった話が、車のディーラーからは新車販売台数が減少しているので広告費を削減したいなどの話がある。
		公認会計士	取引先の様子	・関与先の今月提出の決算書、また、前月との対比の試算表をみても、利益が対前年比、あるいは対前月比でマイナスになっているところが増えている。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・建築資材の高騰が著しく、見積りが難しくなっている。特に鉄関連は、価格の高騰に加え、メーカーの引き締めにより、発注しても数か月待ちの状態が続いている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	-	-	-
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・新規取引が減少傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は、3か月前より0.02ポイント下回り、0.79倍となった。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は3か月前まで前年比で増加していたが、減少に転じた。
		民間職業紹介機関（所長）	雇用形態の様子	・業種間の格差はあるが、製造業においては原油等の値上がりで原材料費が高騰しており、利益が上がらず、従業員の雇用形態に日給・月給制を採用するところが増えている。
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・広告業界は個別クライアントのマス広告出稿は全業界を通して減少傾向にある。イベントなどがあれば出稿がある。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数をみると、3か月前では前年比で5%マイナスであったが、直近3月の新規求人では減少率がさらに高まり、前年比で13%のマイナスとなった。	